

## 建物及び設備における主な石綿使用状況

平成17年8月5日現在

対象	使用箇所	現状（使用状況等）	備考（対応状況 他）
石綿を含有する吹付け	設備機器室，変圧器室等の防音材，断熱材，耐火材として一部の壁面や天井に使用。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用箇所を把握し計画的に対策を施している。</li> <li>・自社建物：32棟</li> <li>・変圧器防音材：13台</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に点検を行うとともに，石綿使用箇所の表示及び点検時保護具装着等の対策を行っていく。</li> </ul>
石綿含有製品	建材	建物の耐火ボード，床材等に使用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H16.10以前に使用された建材に含まれていると考えられる。それ以降は石綿含有製品は使用していない。</li> </ul>
	防音材	変圧器の防音材（変電設備・水力発電設備）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・約70台</li> </ul>
	石綿セメント管	地中線用の管路材料（送電設備・配電設備）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・亘長：約180km</li> </ul>
	保温材	発電設備（火力設備・原子力設備）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石綿含有製品残数：約3万m<sup>3</sup>（全数の約3割）</li> </ul>
	シール材・ジョイントシート	発電設備（火力設備・原子力設備）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石綿含有製品残数：（火力）約38万個（全数の約8割）（原子力）約17万個（全数の約9割）</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・成形品であり，通常状態において飛散性はないため，定期検査や修繕工事等の機会に合わせて順次，非石綿製品へ取り替えていく。</li> <li>・成形品であり，通常状態において飛散性はないため，非石綿製品のあるものについては，定期検査や修繕工事の機会に合わせて順次，非石綿製品へ取り替えていく。</li> <li>・非石綿製品への移行は，技術的評価を行い推進する。</li> </ul>